

報道各位

TOKYO FM『クロノス』 ～ 図鑑の寄付による被災地サポート ～ 「被災地の子供の好奇心サポートプロジェクト～図鑑を贈ろう」 6月3日、被災地の学校に直接図鑑をお届けしました

TOKYO FM では、東日本大震災により被災された皆さまを支援する活動の一環として、今、僕たち私たちの時代に何が起きているのか？何が変わろうとしているのか？を探る TOKYO FM 『クロノス』(月曜日～金曜日 6時から8時30分)にて、2011年4月18日(月)から5月15日(日)までの期間、番組とfacebookを通じてリスナーに「図鑑」の寄付を呼びかける「被災地の子供の好奇心サポートプロジェクト～図鑑を贈ろう」を実施致しました。この活動で、募集期間中に1万冊を超える図鑑が同局に寄せられ、寄付された図鑑は被災地の児童に届けられています。

この活動の一環として、6月3日(金)には、『クロノス』スタッフが直接宮城県登米市を訪問し、南三陸町の戸倉小学校と戸倉中学校の学生に直接図鑑を届ける活動「本直接お届けプロジェクト」を実施致しました。当日は、宮城県本吉郡南三陸町の戸倉小学校と戸倉中学校の学生が避難して授業を行なっている、登米市の旧・善王寺小学校(宮城県登米市米山町字善王寺石神 68)を訪問し、子どもたちと共に本棚を設置。図鑑を運び入れる作業を行いました。現地での様子を別紙にてご報告させていただきます。

■ 「クロノス」番組概要

朝は今日の始まりです。ビジネスで、コミュニケーションで常に人と違う発想＝視点(「ポイントラブ」)を手にし、これから始まる一日のポジティブなエネルギーとしたい…。そう考えるリスナーの欲求に「クロノス」は答えます。パーソナリティは、自らの感性を、その高いコミュニケーション能力で発信し続けている中西哲生。TOKYO FMでは、中西哲生の瑞々しい感性とホットなエモーションを媒介に、日本、そして東京の朝に、唯一無二の電波を発信しています。

タイトル : クロノス
パーソナリティ : 中西哲生、古賀涼子
放送日時 : 月曜日～金曜日午前6時00分から8時30分
放送形式 : TOKYO FM アースギャラリーから生放送
放送局 : 全国38局ネット(※一部 東京ローカル)
番組HP : <http://www.jfn.co.jp/ch/>

■6月3日「本直接お届けプロジェクト」現地レポート(番組スタッフ)■

バスで東京から向かったスタッフたちを校門で迎えてくれたのは教頭先生。小学生は2階、中学校は3階で授業を行っているため、それぞれ2階、3階に本棚の配置場所を決定。子どもたちと一緒に段ボールに詰まった本を2階までまず運びました。その後、校庭で贈呈式を行い、記念写真を撮影。子供たちはバスで40分ほど離れた地域から、この校舎に通っているため、遅くとも5時過ぎには学校を離れねばならず、廊下での本棚作りは急ピッチで行われました。



本棚完成後は、子どもたちと一緒に箱を開けて本を並べる作業に。本が箱から出てくるたびに、子供たちからは歓声が上がリ、スタッフの疲れも吹き飛びました。重い本を友だちと協力して運ぶ姿、みんなで協力して本を棚に並べる姿は生き生きとしていて、スタッフはむしろ、張り切る子どもたちのリーダーシップのもとに動いたという状況でした。



これまで、この学校に絵本が届くことはあっても図鑑が届くことは珍しいというお話でした。特に、子どもたちに愛されていたながら津波に流されてしまった『科学のアルバム』という図鑑シリーズを箱の中に見つけたときは、「まるで以前学校にあったものがそのまま全部帰ってきてくれたようだ」(教員)と喜んでいただきました。

子どもたちが好奇心を封印せざるを得ないような状況が続いていた中で、様々な図鑑を目の前にした子どもたちは目を輝かせて口々に「科学者になりたい」「動物が好き」といった言葉を口にし、抑えていた好奇心が蘇ってくるようでした。本プロジェクトの問題意識であった「子どもたちの好奇心の危機」というものが、思った以上に深刻だったということに気づかされたと同時に、前向きな反応をしてもらえたということを楽しみました。

